

踏切が閉まっていない状態で列車が通過した事象の原因と対策について

2026年2月17日
西日本旅客鉄道株式会社

2026年2月14日に、福知山線 川西池田駅構内で発生させた踏切が閉まっていない状態で列車が通過した事象について、皆さまにご不安やご心配をおかけしましたこととお詫び申し上げます。現在までの調査で判明した原因および対策について、お知らせします。引き続き、再発防止に取り組んでまいります。

1 発生日時

2026年2月14日（土） 6時21分頃

2 発生場所

福知山線 川西池田駅 構内 栄根辻（さかねつじ）踏切
※川西池田駅から北伊丹駅方面に約130m付近

3 当該列車

上り普通列車 7両編成
新三田（5：46）発 大阪（6：42）行
ご乗車のお客様：約40名

4 概 況

6時21分頃、川西池田駅を出発した普通列車の運転士が、当該踏切が閉まっていないことに気づき、ただちに非常ブレーキを使用しましたが、列車の1両目の前半分（約10m）が踏切道に進入した状態で停車しました。

当該踏切の確認を行った結果、2月14日の始発から当該列車を含む6本の上り電車（宝塚駅から尼崎駅方面）が、踏切の遮断機が降下していない状態で走行していたことが判明しました。

※当該踏切をご通行のお客様や車両等との接触はありません

※下り電車（尼崎駅から宝塚駅方面）が通過の際は、正常に動作をしていました

5 原 因

当該踏切を制御する装置の近くで工事を行った際に、何らかの理由により金属部品が落下し、電気回路がショートしたことで、上り列車が接近しても踏切が閉まらない状態となっていたためです。

6 対 策

- ・配線関係の工事前後の設備確認方法を見直します。
- ・複数の列車が踏切を無遮断で通過することを防ぐ「故障検知機能」の追加整備を進めます。